

光市記者発表資料

平成30年12月25日

件名

2018（平成30年）光市10大ニュースの選定について

標記の件につきまして、市政運営の観点から、重要性や市民生活への密着性などを踏まえて選定しました。

記

2018（平成30年）光市10大ニュース（発生順）

- ・ 東日本大震災復興祈念の森の整備（虹ヶ浜海岸）
- ・ ふるさとひかりの景観10選を選定
- ・ 市税等の収納と証明書等の交付を全国のコンビニで開始
- ・ 市立幼稚園を再編
- ・ 光ブランド創出事業を展開
- ・ 地域おこし協力隊が着任
- ・ 平成30年7月豪雨により、市内に大きな被害
- ・ 災害復旧に向けた支援の「わ」
- ・ 伊藤公資料館で明治維新150年の記念事業を展開
- ・ 山口ゆめ花博光市デーで、まちの魅力や元気を力強く発信

※各事業の説明は、別紙のとおり。

問合せ

担当課・係 広報・シティプロモーション推進室
 広報・シティプロモーション推進係
担当者 温品 大輔（Tel0833-72-1409）

2018年 光市 10大ニュース

●東日本大震災復興祈念の森の整備（虹ヶ浜海岸） 2月15日

平成29年5月に、岩手県陸前高田市の高田松原に植樹するために育てた本市のクロマツの一部を活用し、三井小の児童などが被災地の復興を願いながら丁寧に植樹しました。

●ふるさとひかりの景観10選を選定 3月2日

山・川・海の豊かな自然を継承していくとともに、市民や事業者とともに良好な景観に対する意識を高めしていくため、ふるさとの自慢となる自然景観を選定しました。

●市税等の収納と証明書等の交付を全国のコンビニで開始 4月1日

公共サービスの利便性の向上のための取り組みとして、4月1日から休日や昼夜を問わず、全国のコンビニエンスストア等で、市税の納付や住民票の写しの取得等ができるようになりました。

●市立幼稚園を再編 4月1日

少子化が進行する中、将来にわたって幼児教育や保育の質を確保していくため、3つの市立幼稚園をやよい幼稚園に再編し、4月には、6人の新入園児を迎え入れました。

●光ブランド創出事業を展開 6月29日～

光の名前の発信や市内経済の活性化のため、商品名に「光」を入れた土産品開発への支援を開始しました。12月には、初めて商品化された白イチジクジャムの販売が始まりました。

●地域おこし協力隊が着任 7月2日

本市初の「地域おこし協力隊」として東京都から川口啓介さんが東荷地域に着任しました。現在、空き家を活用した地域の活性化に取り組んでいます。

●平成30年7月豪雨により、市内に大きな被害 7月4日

7月4日深夜から8日にかけて、総雨量456ミリを観測する大雨により、島田川の氾濫や山腹の崩落など各地で大きな被害が発生。最大時には532人が避難所に避難しました。

●災害復旧に向けた支援の「わ」 7月4日

地域住民や消防団の活動に加えて、市内外の企業や団体からの支援、他自治体からの職員派遣、1,300人を超えるボランティアや多額の義援金など、全国から温かい「エール」をいただきました。

●伊藤公資料館で明治維新150年の記念事業を展開 9月2日～

4年前から継続してきた企画展を締めくくる完結編の開催や公園周辺のライトアップなどを行いました。12月には、伊藤博文公の生涯をまとめた、資料館初のオリジナル書籍を刊行しました。

●山口ゆめ花博光市デーで、まちの魅力や元気を力強く発信 10月21日

光市デーを開催し、自然敬愛の精神や歴史文化、物産など、光市の魅力や元気を発信しました。ステージ上では、「なりきり伊藤博文公」仮装コンテストを開催し、生誕の地としてのPRを行いました。